三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録

開催日：2021年11月10日（水）18:30～20:00

場 所：Zoom ミーティング

出席者：理 事：荒嶋、飯島、五十嵐、伊藤、小川、尾山、加藤、黒岩、小板橋、才藤、坂口、
庄野、関根、高木、平松、三輪

監 事：石原、最川

顧 問：大谷

オブザーバー：白田、鈴木、吉田

(敬称略)

尾山理事の進行により、Zoom ミーティングによる会議開始時点での参加人数（理事の出席13名）が定則を満たしていることから理事会の成立が確認され、会長が議長となり、コロナの感染状況が急速に改善している中、今年唯一の開催となった外洋レースである小網代カップが先週末に無事終了し、来年は例年通りのレース開催を目指していく旨の挨拶と議事録作成に小板橋理事、議事録署名については伊藤理事を指名し、下記議案を審議した。

<審議事項>

1. 新春親善レース

才藤理事から、1月9日（日）に湘南レース1月度と合同開催での実施を予定して今後公示等を詰めていくこととしており、またパーティーについてはリビエラと調整中となっている旨の説明があり、本件は全会一致で承認された。

2. ワクチン接種が進んだ後のレース開催基準

庄野会長から、ワクチン接種が進んだ後のレース開催基準については、今年のトランスパックを参考例として提示し、また高木理事から小網代カップの開催基準等が説明され、さらに飯島理事他理事等からの意見が述べられた後、都度都度で判断していくことで、了承された。

3. コロナ禍の会員サービス

児玉さん訳「RYA Sea Survival Handbook」、会費減額（外洋湘南）

庄野会長から、コロナ禍の会員サービスとして、外洋湘南会長の発言で会費を半額にするとの話しを聞き、今期は赤字予算であったが現状収支は黒字となりそうなことから MOSC の会費を半額にしたらどうかとの案と児玉顧問が翻訳された本「RYA Sea Survival Handbook」を会員に送る案が提案され、2月総会までには方向性を出したいとのことであった。平松理事からは、JSAF マスクの送付が提案された。関根理事からは、外洋4団体の会費は同額でないと問題が生じる可能性があることから好ましくないと発言があった。坂口事務局長からは、金額変更は1月中に決まらないと事務処理が間に合わないとのことであった。

庄野会長から、色々な意見もあり、問題点の指摘や考慮の必要性もあることが分かったことから、本件は継続審議となった。

4. 2021 年度外洋合同委員会について

庄野会長から、2 月 5 日に Web での開催が広報されており、例年通りに各委員長に出席して欲しいとの提案があり、計測委員会は北川理事に出席してもらうように手続きすること、レース委員会は飯島理事の他に荒嶋理事にも参加してもらうことになった。

平松理事から、JSAF 委員会の会議について、12/5 外洋常任委員会はハイブリッドで、12/4 JSAF 理事会は対面で開催が報告され、庄野会長からは 1 月末の全国加盟団体代表者会議と外洋団体長会議並びに JSAF 新年会は対面で開催される予定であるとの報告があった。

以上、本件は了承された。

5. 2022 年 1 月以降の理事会開催方法

尾山理事から、1 月からはいよいよ対面が可能な情勢となっており、対面開催の提案があった。関根理事からは、対面だけでは良くないので、対面と Zoom を交互に開催したらどうかとの提案があり、各理事から色々な意見が述べられ、現在の感染並みの状況であれば 1 月 19 日は対面での理事会とする案が提案された。そして尾山理事からは、総会及び理事会は対面で、1 月は Zoom での開催、なお対面の際にはハイブリッドの準備をしておくことが提案され、承認された。

6. その他

その他として、特に提案はなかった。

< 報告事項 >

1. 10 月湘南レース、小網代カップ

飯島理事から、10 月湘南レースについては今年 2 回目、参加艇数 39 艇で、2 レース実施したが、2 レース目は風軸が変わったり風が弱くなったりしたため散々であった。2 レース目には小網代の某艇が本部艇に衝突するアクシデントがあったが、事なきを得た。

高木理事から、11 月 6 日の小網代カップは天候も良く風も順調であったため、12 時間弱で終了した。参加艇は 16 艇で、にぎやかなレースであった。2 時間内に全艇フィニッシュしたので、運営上助かった。また、スマホデヨットレースを活用できたので、夜間フィニッシュでの効果が大きかった。なお、舵の 1 月号に記事が掲載される。来年は 60 回の節目の年なので、例年と違う開催を予定している。

2. 9/25 外洋団体長・事務局長会議

庄野会長から、外洋団体長会議についての外洋合同会議の件、1 月以降に開催予定のサバイバルトレーニングの件、三崎ヨット無線局の問題点が全国的に認知され検討されつつある件、JSAF 理事選挙の方法変更の件が報告された。

坂口事務局長から、事務局長会議については8月1日より外洋艇セールナンバーの登録が変更になり、JSAF 非会員でのセールナンバー登録が出来るようになった。新艇に旧艇のセールナンバーを引き継ぐには、旧艇に新セールナンバーを取得する必要があるなどの手続きが必要であるとの報告があった。尾山理事から、セールナンバーについては分かりづらい点があるので、ホームページへの記載を要望があり、坂口事務局長からは JSAF のホームページへのリンク等をする旨、回答された。

3. JSAF 定期表彰

庄野会長から、大谷顧問を10月19日付で JSAF 定期表彰に推挙した。JSAF 総務委員会で取りまとめた上、12月 JSAF 理事会で審議する予定である。その後、1月29日全国加盟団体代表者会議で表彰される運びとなると報告された。

4. 11/16 山崎名誉会員散骨式供花

坂口事務局長から、11/16 蒲郡マリンセンターハウスで山崎名誉会員及び JSAF 名誉会長の散骨式が執り行われるので、会長と相談の上、供花の手配を行うこととしている。12/5にはスポーツマンクラブで偲ぶ会が実施されるが、会場の関係から供花は受けないと聞いている。12/5の偲ぶ会には庄野会長及び児玉顧問が出席する予定である。

5. その他

尾山理事から、新橋 榎本での飲み会開催について提案があり、5時50分開始の予約で、有志を募り一献傾けたいとのことから、メールで調整し12月中旬で開催で調整を図ることとする。

石原監事から、みさきヨット無線局については、10マイル以上ではヨット側のみさきヨットの受信はできるが、みさきヨット側でヨットの受信が出来ない事象がかなりある。ヨット側のアンテナやケーブルの調整が今一つと思われるので、安全上からも点検及び確認が必要である旨の要望があった。

1月14日に監査を行い、次回の理事会は1月19日（水）で原則 Zoom である旨伝達され、以上で本日の議事をすべて終了し、20時00分に閉会した。

以上

2021年 月 日

議事録署名人